

法人番号	271014
プロジェクト番号	S1311041

学校法人名	学校法人関西大学	大学名	関西大学
研究プロジェクト名	国際的な文化財活用方法の総合的研究		

平成 25 年度選定「私立大学戦略的研究基盤形成支援事業」

研究進捗状況報告書

別 紙 資 料

目 次

1. 関西大学国際文化財・文化研究センター運営内規……………p.1
2. 関西大学国際文化財・文化研究センター外部評価委員一覧……………p.3
3. 外部資金獲得状況……………p.5
4. 国際文化財・文化研究センター各種研究会・シンポジウムの開催状況……………p.8
5. 国際文化財・文化研究センターチラシデータ集……………p.20
6. 国際文化財・文化研究センターの研究成果出版状況……………p.29
7. メディア掲載誌(掲載分コピー)……………p.56
8. ホームページ、Facebook……………p.57

(趣 旨)

第 1 条 この内規は、平成25年度文部科学省私立大学戦略的研究基盤形成支援事業の選定を受けた「国際的な文化財活用方法の総合的研究」(以下「研究プロジェクト」という。)を推進する研究組織「関西大学国際文化財・文化研究センター」(以下「センター」という。)の運営に関して必要な事項を定める。

(目 的)

第 2 条 センターは、文化財修復の専門家を育成し、その技術の高度化を促進するとともに、従来文化財の科学を軸にして、理系の科学技術を応用し、文系の学問(エジプト学や異文化理解)と結びつけて、海外の異なった文化世界でも活躍できる人材を育成し、その成果を社会に還元する「総合文化財学」を確立し、日本国内のみならず、海外においても活躍できる、文化財修復の高度な技術者を育成し、それらの文化財の修復に関心のある学生・大学院生・社会人に教育活動をととして文化財や文化での深い洞察を与えることを目的とする。

(事 業)

第 3 条 センターは、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 研究プロジェクトの学術研究及び調査
- (2) 研究調査に必要な図書及び資料の収集整理
- (3) 学術研究に関する研究成果の発表
- (4) シンポジウム及び講演会の開催
- (5) その他センターが必要と認める事業

(構 成)

第 4 条 センターに次の職員を置く。

- (1) センター長 1 名
- (2) 研究員 約20名
- 2 センターに若干名の特別任用研究員、ポスト・ドクトラル・フェロー及びリサーチ・アシスタントを置くことができる。
- 3 センターに若干名の客員研究員を置くことができる。
- 4 センターに若干名の非常勤研究員を置くことができる。

(センター長)

第 5 条 センター長は、センターを代表し、その業務を統括する。

- 2 センター長は、研究プロジェクトの研究代表者をもって充てる。

(研究員)

第 6 条 研究員は、研究プロジェクトの実施計画に基づき、研究活動に従事する。

- 2 研究員は、本学専任教職員もしくは大学等の研究機関に所属する研究者又はそれに相当する研究実績を有すると認められる研究者のうちから、センター運営委員会の議を経て、センター長が任命する。
- 3 研究員の任期は研究プロジェクトの実施期間とする。

(特別任用研究員、ポスト・ドクトラル・フェロー及びリサーチ・アシスタント)

第 7 条 特別任用研究員、ポスト・ドクトラル・フェロー及びリサーチ・アシスタントの取扱いは、関西大学特別任用研究員に関する取扱要領、関西大学ポスト・ドクトラル・フェローに関する取扱要領及び関西大学リサーチ・アシスタントに関する取扱要領に基づく。

(客員研究員)

第 8 条 客員研究員は、大学等の研究機関に所属する研究者又はそれに相当する研究実績を有すると認められる研究者のうちから、センター運営委員会が決定し、センター長が

委嘱する。

- 2 客員研究員は、第3条に規定する事業を推進するにあたり、必要に応じて協力する。
- 3 客員研究員の任期は年度末までとする。ただし、本人及びセンターが希望する場合には更新できるものとする。

(非常勤研究員)

第9条 非常勤研究員は、前条に規定する客員研究員以外で、センターの研究活動に関連する研究実績を有する研究者のうちから、センター運営委員会が決定し、センター長が委嘱する。

- 2 非常勤研究員は、第3条に規定する事業を推進するにあたり、必要に応じて協力する。
- 3 非常勤研究員の任期は年度末までとする。ただし、本人及びセンターが希望する場合には更新できるものとする。

(訪問研究員の受入れ)

第10条 国内外の教育・研究機関の研究者(大学院生を含む。)で、センターにおいて研究を志望する者を、センター運営委員会の議を経て、訪問研究員として受入れることができる。

(センター運営委員会)

第11条 センターにセンター運営委員会を置く。

- 2 センター運営委員会は、センター長、本学専任教育職員の研究員及び研究所事務グループ長で構成する。
- 3 委員長は、センター長をもって充てる。
- 4 委員長は、必要に応じてセンターに所属する学外の研究員の出席を求めることができる。

第12条 センター運営委員会は、委員長が招集し、議長となる。

- 2 センター運営委員会は、次の事項を審議決定する。
 - (1) センターの運営に関する事項
 - (2) 第3条各号に掲げる事業に関する事項
 - (3) 研究設備等の運用と管理に関する事項
 - (4) センターの人事に関する事項
 - (5) センターの自己点検・評価及び外部評価に関する事項
- 3 センター運営委員会は、前条第2項に規定する委員の過半数の出席をもって成立し、議事は出席者の過半数をもって決する。

(事務)

第12条 センターに関する事務は、研究所事務グループが行う。

(内規の改廃)

第13条 この内規の改廃は、センター運営委員会の議を経て、研究推進委員会の承認を得るものとする。

附 則

この内規は、平成25年9月30日から施行し、平成25年4月1日から適用する。

関西大学国際文化財・文化研究センター

外部評価委員一覧

(敬称略、平成 28 年 3 月 31 日現在)

氏名	役職・選定理由
サミール・ヌーハ	<p>【役職】同志社大学神学部・神学研究科 客員教授</p> <p>同志社大学の COE プロジェクトであった「一神教学際研究センター」においてアラブ・イスラム世界との研究者交流を強力に推進しているエジプト人研究者であり、国際的に知られる東洋学研究の一人者。アラブと日本の事情に詳しく、本センターでの文化・都市研究の業績を評価できる研究者である。</p>
玉野 富雄	<p>【役職】大阪産業大学工学部都市創造工学科 教授</p> <p>城郭石垣や古墳などの文化財の修復事業に取り組み、大阪城をはじめとして、名古屋城、丸亀城、高松城などの修復事業に参画してきた。掘削地盤の安定などの地盤力学が専門であって、地下埋蔵室の岩盤の安定性に対して貴重な助言を得ることができるとともに、文化財の修復手法についても的確な評価ができる研究者である。</p>
西山 要一	<p>文化財保存環境の研究、古代象嵌銘技法の研究、文化財防災の研究で多くの業績を出し、日本文化財科学会の理事・評議員の任にあるなど、日本の文化財科学の分野の第一人者である。また、レバノン共和国のティール市で、ローマ時代の地下墳墓およびその壁画の修復を行っており、海外、特にアラブ地域の文化財の実情に詳しく、本センターで行っている壁画修復についても的確な評価ができる研究者である。</p>
三谷 研爾	<p>【役職】大阪大学文学研究科 文化動態論専攻 教授</p> <p>専門はドイツ・オーストリア文学、中欧文学論。プラハのドイツ語文学、近代における都市空間と言語的表象の相互作用を研究する一方で、ユダヤ人問題や文化史にも詳しく、ヨーロッパの文化事象を広範に考察する視点による著作を多くもつために、国際文化グループの活動や業績についても、バランスよく評価をおこなえる研究者である。</p>

氏 名	役 職・選 定 理 由
渡會 仁	<p>【役職】大阪大学ナノサイエンスデザイン教育研究センター 招へい教授</p> <p>分析化学を専門とし、基礎研究から応用研究まで、広い分野を対象とした研究業績がある。特に、機器を用いる微量分析法については従来法の改良や独自の方法の開発を行っている。また、日本分析化学会の会長や日本学術振興会の専門委員を務めるなど、国内外の大学の研究事情にも通じている。よって、広い視野から評価のできる研究者である。</p>

外部資金獲得状況

【科研費】

年度	氏名	種別	課題	合計額 (千円)
25	吹田 浩	科学研究費補助金基盤研究(B)	古代エジプトの石造建築物文化財の保存と活用の研究— サッカーを例にして	1,690
25	森 貴史	科学研究費補助金基盤研究(C)	18世紀後半のゲッティンゲン大学で形成された初期文化人 類学の言説研究	1,040
25	中澤 務	科学研究費補助金基盤研究(C)	相対主義の歴史的起源の解明—新視点からのアプローチ —	1,560
25	荒川 隆一	科学研究費補助金基盤研究(B)	ナノ粒子の集積体表面を利用した新規な大気圧レーザー脱 離ソフトイオン化法の開発	2,470
25	川崎 英也	科学研究費補助金基盤研究(B)	レアメタル触媒の高度利用に向けた保護剤フリーでの金属 サブナノクラスターの液中合成	2,730
25	安室 喜弘	科学研究費補助金基盤研究(C)	写实的災害イメージ生成のための実測モデリングによる対話 的シミュレーション	1,690
25	鶴田 浩章	科学研究費補助金基盤研究(C)	コンクリート構造物の耐久性向上に有効な表面保護材料の 開発とその評価	1,170
26	森 貴史	科学研究費補助金基盤研究(C)	18世紀後半のゲッティンゲン大学で形成された初期文化人 類学の言説研究	780
26	中澤 務	科学研究費補助金基盤研究(C)	相対主義の歴史的起源の解明—新視点からのアプローチ —	1,040
26	荒川 隆一	科学研究費補助金基盤研究(C)	新規なイオン化法を利用したイメージング質量分析の開発	1,430
26	安室 喜弘	科学研究費補助金基盤研究(C)	写实的災害イメージ生成のための実測モデリングによる対話 的シミュレーション	1,820
27	中澤 務	科学研究費補助金基盤研究(C)	相対主義の歴史的起源の解明—新視点からのアプローチ —	910
27	荒川 隆一	科学研究費補助金基盤研究(C)	新規なイオン化法を利用したイメージング質量分析の開発	1,690
27	川崎 英也	科学研究費補助金基盤研究(B)	抗菌光線力学療法のための新しい光増感性金ナノクラ スターの開発	8,970
27	安室 喜弘	科学研究費補助金基盤研究(B)	蓄積画像による地下空間位置推定を用いたモバイル型浸水 ハザードマップの構築	9,100

【学外共同研究】

年度	氏名	種別	課題	合計額 (千円)
25	西形 達明	(株)山田技術士事務所	酸化マグネシウムの地盤改良への適用に関する研究 その2	10
25	西形 達明	(株)安藤・間	石積み構造物の補強に関する研究 (その3)	525
25	土戸 哲明 富岡 敏一	パナソニック(株) アプライアンス社	衣類付着細菌による臭気成分生成機構の解析とその抑制法 の開発	1,050
25	山本 健 土戸 哲明	(株)ショウワ	超音波殺菌装置の開発	1,000
25	荒川 隆一	(株)ニイタカ	界面活性剤の質量分析に関する研究	84
25	荒川 隆一	(株)ニイタカ	界面活性剤の質量分析に関する研究	416
25	荒川 隆一	日本合成化学工業(株)	質量分析によるポリマーの構造解析	1,050

年度	氏名	種別	課題	合計額 (千円)
25	荒川 隆一 川崎 英也 大洞 康嗣	大日本塗料(株)	機能性材料の開発	500
25	荒川 隆一 川崎 英也	(株)クラレ	MALDI-MSによる合成高分子の構造解析手法確立に関する研究	1,000
25	鶴田 浩章	ヤマトスチール(株)	電炉スラグの有効利用とその用途拡大に関する調査研究	1,500
26	伊藤 淳志	コングロエンジニアリング(株)	格子状浅層地盤改良工法に柱状改良杭を併用した場合の沈下抑制効果に関する研究	186
26	西形 達明	ヒロセ(株)	補強土工法の性能評価に関する基礎研究	151
26	荒川 隆一	(株)ニイタカ	界面活性剤の質量分析に関する研究	84
26	荒川 隆一	(株)ニイタカ	界面活性剤の質量分析に関する研究	400
26	荒川 隆一	日本合成化学工業(株)	質量分析によるポリマーの構造分析	1,080
26	川崎 英也	荒川化学工業(株)	低温焼結可能な高純度シングルナノ銅の大量製造法の研究開発	290
27	伊藤 淳志	コングロエンジニアリング(株)	格子状浅層地盤改良工法に柱状改良杭を併用した場合の沈下抑制効果に関する研究	894
27	西形 達明	ヒロセ(株)	補強土工法の性能評価に関する基礎研究	65
27	荒川 隆一	(株)ニイタカ	界面活性剤の質量分析に関する研究	500
27	荒川 隆一	日本合成化学工業(株)	質量分析によるポリマーの構造分析	1,080

【指定寄付】

年度	氏名	種別	課題	合計額 (千円)
25	荒川 隆一	紀本電子工業(株)	大気汚染物質の質量分析に関する研究	500
25	鶴田 浩章	(公財)鉄鋼環境基金	「転炉スラグの膨張性の有効利用方法の開発研究」に対する研究助成	1,500
26	伊藤 淳志	君岡鉄工(株)	先端閉塞杭の打設及び支持力性能に関する研究	1,000
26	川崎 英也	(公財)日立金属・材料科学財団	「光線力学的ガン治療用光増感剤としての金クラスターの創製とその一重項酸素生成のメカニズム解明」に対する研究助成	800

【受託研究】

年度	氏名	種別	課題	合計額 (千円)
25	江川 直樹 岡 絵理子 鳴海 邦碩	八幡市	男山地域再生基本計画策定委託	5,000
25	岡 絵理子	NPO法人 JR吹田駅周辺まちづくり協議会	JR吹田駅前鉄骨長屋商店街の再生に関する提案	1,500
25	岡 絵理子 江川 直樹	男山第4住宅管理組合	区分所有集合住宅団地の再生・再編における合意形成に関する研究	800
25	江川 直樹 岡 絵理子	竹嶋 俊一	伝統的木造民家の再生設計に関する研究(竹嶋邸)その一「実現可能な再生実施設計(構法、材料、デザイン、コスト)の可能性に関する研究」	821
25	江川 直樹 岡 絵理子	竹嶋 俊一	伝統的木造民家の再生設計に関する研究(竹嶋邸)その二「実現可能な再生実施設計(構法、材料、デザイン、コスト)の可能性に関する研究」	1,050

年度	氏名	種別	課題	合計額 (千円)
25	江川 直樹 岡 絵理子	竹嶋 俊一	伝統的木造民家の再生設計に関する研究(竹嶋邸)その三「実現可能な再生実施設計(構法、材料、デザイン、コスト)の可能性に関する研究」	1,050
25	鶴田 浩章	(株)神戸製鋼所	コンクリートの乾燥収縮ひび割れ低減対策に関する研究	500

10,721

【損傷菌の発生機序の解明と検出・制御技術の開発委託事業】

年度	氏名	種別	課題	合計額 (千円)
25	土戸 哲明 坂元 仁	農林水産省	損傷菌の発生機序の解明と検出・制御技術の開発	4,060

【地域産業支援力強化事業補助金】

年度	氏名	種別	課題	合計額 (千円)
25	山本 健 土戸 哲明	大阪府	高周波超音波による殺菌装置の開発 コンソーシアム(地域産業支援力強化事業補助金)	823

【研究成果展開事業 研究成果最適展開支援プログラム(A-STEP)フィージビリティスタディステージ探索タイプ】

年度	氏名	種別	課題	合計額 (千円)
25	土戸 哲明	医療法人社団 信英会 越谷大袋クリニック	透析液から分離された菌で構成した菌叢の増殖特性およびバイオフィーム特性に関する研究	384
25	鶴田 浩章	(独)科学技術振興機構	震災がれき焼却灰のコンクリート用材料あるいは製品への活用用途開発検討	1,700

【研究成果展開事業 研究成果最適展開支援プログラム(A-STEP) 本格研究開発ステージ 実用化挑戦タイプ】

年度	氏名	種別	課題	合計額 (千円)
25	川崎 英也 荒川 隆一 板倉 正	(株)アイテック	平均粒子径2nm銅シングルナノ粒子をバッチ式で合成する条件検討、最適化	2,649

【試験・分析】

年度	氏名	種別	課題	合計額 (千円)
27	荒川 隆一	御国色素(株)	インクの分析	85

【公開シンポジウム】

2014年度

テーマ: 天空の古代都市「マチュピチュ遺跡」を護れ—保存修復研究L国際プロジェクトの成果—

使用言語: スペイン語

開催日	場所	プログラム	参加者数
2015/2/28	国士舘大学 多目的ホール	<p>[総合司会] 岡田保良(国士舘大学)</p> <p>[開会挨拶] 三浦信行(国士舘大学学長)</p> <p>[講演] マチュピチュ遺跡の歴史とその保護・活用 ピエダッド・チャンピ(ペルー政府文化省マチュピチュ遺跡保護管理事務所保存部長) グラディス・ファルパリマチ(ペルー政府文化省マチュピチュ遺跡保護管理事務所保存主任)</p> <p>太陽の神殿の保存修復に向けて: 共同研究プロジェクトの成果 西浦忠輝CHC研究員(国士舘大学イラク古代文化研究所教授)</p> <p>デジタルアーカイブで残す: 太陽の神殿の三次元計測 柴田英明(国士舘大学) 小野勇(国士舘大学)</p> <p>地震で崩壊? 遺構の構造耐力を探る 伊藤淳志CHC研究員(関西大学環境都市工学部教授) 西形達明CHC研究員(関西大学環境都市工学部教授)</p> <p>知られざるウルバンバ溪谷遺跡群: 保護、活用と地域発展 藤田晴啓(新潟国際情報大学)</p> <p>[パネルディスカッション] より良い保存修復と活用: 今後に向けて コーディネーター 天野幸弘(朝日新聞社)</p> <p>パネリスト ピエダッド・チャンピ、西浦忠輝、伊藤淳志、藤田晴啓</p> <p>[閉会の辞] 岡田保良(国士舘大学)</p>	156
2015/3/1	関西大学 千里ホールA	<p>[総合司会] 西形達明CHC研究員(関西大学環境都市工学部)</p> <p>[開会挨拶] 楠見晴重(関西大学学長)</p> <p>[講演] マチュピチュ遺跡の歴史とその保護・活用 ピエダッド・チャンピ(ペルー政府文化省マチュピチュ遺跡保護管理事務所保存部長) グラディス・ファルパリマチ(ペルー政府文化省マチュピチュ遺跡保護管理事務所保存主任)</p> <p>太陽の神殿の保存修復に向けて: 共同研究プロジェクトの成果 西浦忠輝CHC研究員(国士舘大学イラク古代文化研究所教授)</p> <p>地震で崩壊? 遺構の構造耐力を探る 伊藤淳志CHC研究員(関西大学環境都市工学部教授) 西形達明CHC研究員(関西大学環境都市工学部教授)</p> <p>聖地・マチュピチュ遺跡の気象環境 森井順之(東京文化財研究所)</p> <p>[パネルディスカッション] より良い保存修復と活用: 今後に向けて コーディネーター 天野幸弘(朝日新聞社)</p> <p>パネリスト ピエダッド・チャンピ、西浦忠輝、伊藤淳志、西形達明、岡田保良(国士舘大学)</p> <p>[閉会挨拶] 吹田浩CHCセンター長(関西大学文学部教授)</p>	74

【国際シンポジウム】

2015年度

名称:2015東アジア文化遺産保存国際シンポジウム

使用言語:日本語、中国語、韓国語

開催日	場所	プログラム	参加者数
<p>専門家会議 2015/8/27</p>	<p>奈良春日野国際 フォーラム 麓 (能楽ホール)</p>	<p>石造文化財の保護に関する幾つかの理念的問題について 黄克忠(中国文化遺産研究院)</p> <p>韓国における東アジア文化遺産の保存科学と教育システムについて 金奎虎(公州大学校)</p> <p>人類の歴史、文化、未来:あらためて文化遺産保護の意味を考える 西浦忠輝CHC研究員(国士館大学)</p> <p>館蔵壁画の保護に関する理論的研究とその実践 —甘肅省博物館所蔵の武威天梯山石窟壁画の保存修復を例として 汪万福(敦煌研究院)</p> <p>ゲル化した壁画表面強化材料の除去技術に関する研究 張乘賢(浙江大学)</p> <p>杭州、文廟の彩色絵の現地保存に関する研究 徐飛(南京博物院)</p> <p>朝鮮後期の宮闕の丹青顔料の特性と分析調査 宋柔娜(公州大学校)</p> <p>朝鮮時代、丹青の七組物種中の朱土の復元研究 安秉燦(高麗大学校)</p> <p>テラヘルツイメージング技術の文化財非破壊診断調査への応用 高妻洋成(奈良文化財研究所)</p> <p>木造文化財の生物被害の調査方法と対策に関する研究 徐民錫(国立文化財研究所)</p> <p>陝川・海印寺の藏經板殿の保存環境に関する調査研究 鄭容在(韓国傳統文化大学校)</p> <p>寒冷地における土を部材にもつ文化財の劣化と保存に関する研究 石崎武志(東北芸術工科大学)</p> <p>磨崖仏の覆屋内温度環境制御による保存について 森井順之(東京文化財研究所)</p>	<p>290</p>
<p>専門家会議 2015/8/28</p>	<p>奈良春日野国際 フォーラム 麓 (能楽ホール)</p>	<p>漢代鉄鎖の構造の非破壊分析について 葉琳(重慶市文化遺産研究員)</p> <p>中国古寺廟彩絵泥塑宗教造像伝統工芸和材料研究 柳秋穎(陝西省文物保護研究院)</p> <p>韓国、榮江山流域における大型甕棺の定量分析とその考古科学的意味 李讚熙(国立公州大学校)</p> <p>松庵寺・塑造佛の自然科学的分析研究 洪鐘郁(国立文化財研究所)</p> <p>X線CT・3Dプリンタ等の3D計測技術を活用した陶質複製品の開発と活用 今津節生(九州国立博物館)</p> <p>文化財の断層撮影に適した大型エックス線CTスキャナーの活用 荒木臣紀(東京国立博物館)</p> <p>振動を用いた劣化予知と機能性修復材料の評価 松井敏也(筑波大学)</p> <p>出土した青銅文化財の保護理念とその実践—叶家山出土青銅器の保存修復を例として 李玲(湖北省博物館)</p> <p>水浸木造文化財の風冷凍結乾燥 胡東波(北京大学考古文博学院)</p> <p>陶瓷器復原用ウレタン樹脂の開発と適用に関する研究 魏光徹(韓瑞大学校)</p> <p>大韓帝国時代の皇室馬車の保存処理方法に関する研究 李賢珠(国立故宮博物館)</p> <p>中国における実験室考古学の現状 杜金鵬(中国社会科学院考古研究所)</p> <p>科学的手法を用いた模刻制作による日本の木造仏教彫刻の研究 —東大寺中性院弥勒菩薩立像模刻制作を例として— 小島久典(東京藝術大学)</p> <p>東日本大震災で被災した文化財の救出活動の経験から 岡田健(東京文化財研究所)</p>	<p>290</p>

テーマ:イスラムと国際社会

使用言語:日本語、英語

開催日	場所	プログラム	参加者数
2015/9/14	関西大学 尚文館1階 マルチメディア AV大教室	イスラム戦争法および国際法から見たIslamic State 〔報告者〕 Ahmed Al-Dawoody(Assistant Professor,Zayd Univ.UAE) Hamdy Hassan(Professor,Zayd Univ.UAE) 沖祐太郎(九州大学、専任講師)	確認 取れず
2015/9/15	関西大学 尚文館1階 マルチメディア AV大教室	アラブの春は何をもたらしたか・・・とりわけ女性の地位に現れた変化 〔報告者〕 Tarak Abdaallah (Interim Director of the Institute for Islamic World Study,Zayed Univ.UAE) Triham Bahi(Assistant Professor,Cairo Univ.Egypt) 辻上奈美江(東京大学総合文化研究科特任准教授)	確認 取れず
2015/9/16	関西大学 尚文館1階 マルチメディア AV大教室	世界遺産および文化遺産の保護 〔報告者〕 吹田浩CHCセンター長(関西大学文学部教授) Hany Aboel-Azm (General Director of the Foreign Mission Affairs & P.Committees,エジプト考古省) 前田耕作(和光大学名誉教授) 〔特別コメンテーター〕 香西茂(京都大学名誉教授)	確認 取れず

名称:世界の文化財保護～地域に根ざした活動と課題～

使用言語:日本語・英語

開催日	場所	プログラム	参加者数
2016/2/27	関西大学 尚文館1階 マルチメディア AV大教室	〔開会挨拶〕 楠見晴重(関西大学学長) 〔講演〕 サッカー地域の壁画群—イドゥートの事例にみる問題とその解決— アフメド・シュエイブCHC研究員(カイロ大学考古学部教授) アーデル・アカリシュCHC研究員(エジプト国立研究センター) イドゥート地下埋葬室での保全作業—母岩の強化— 伊藤淳志CHC研究員(関西大学環境都市工学部教授) 西形達明CHC研究員(関西大学環境都市工学部教授) 鶴田浩章CHC研究員(関西大学環境都市工学部教授) 中村吉伸CHC研究員(大阪工業大学教授) サッカーにおける修復のためのデジタル・アーカイブ 安室喜弘CHC研究員(関西大学環境都市工学部教授) 〔ポスターセッション〕 西浦忠輝CHC研究員(国士舘大学イラク古代文化研究所教授) 高鳥浩介CHC研究員(NPO法人カビ相談センター理事長/東京農業大学客員教授) 土戸哲明CHC研究員(大阪府立大学教授) アフメド・シュエイブCHC研究員(カイロ大学考古学部教授) 川崎英也CHC研究員(関西大学化学生命工学部教授) 吹田浩CHCセンター長(関西大学文学部教授) 荒川隆一CHC研究員(関西大学化学生命工学部特別契約教授) 森貴史CHC研究員(関西大学文学部教授) 柏木治CHC研究員(関西大学文学部教授) 浜本隆志CHC研究員(関西大学名誉教授) 岡絵理子CHC研究員(関西大学環境都市工学部教授) 中澤務CHC研究員(関西大学文学部教授) 〔講演〕 サッカーの遺跡群とそれらが抱える問題点 サブリ・ファラグ(エジプト考古省サッカー遺跡管理事務所) サッカーにおける聖なる動物の墓 ハムディ・アミン(エジプト考古省サッカー遺跡管理事務所) セラベウム—現実とクレームのはざまの修復作業— モスタファ・アブデルファッターハ(エジプト考古省ギザ地域保存修復部門)	57

		<p>階段ピラミッドの保存と修復に関する検討 アシュラフ・ユーセフ(エジプト考古省サッカラ地区修復部門) 〔パネルディスカッション〕 エジプト文化財修復の成果と課題 吹田浩CHCセンター長(関西大学文学部教授) 伊藤淳志CHC研究員(関西大学環境都市工学部教授) 中村吉伸CHC研究員(大阪工業大学教授) アフメド・シュエイブCHC研究員(カイロ大学考古学部教授) サブリー・ファラグ(エジプト考古省サッカラ遺跡管理事務所) ハムディ・アミン(エジプト考古省サッカラ遺跡管理事務所) モスタファ・アブデルファッターハ(エジプト考古省ギザ地域保存修復部門) アシュラフ・ユーセフ(エジプト考古省サッカラ地区修復部門)</p>	
2016/2/28	<p>関西大学 尚文館1階 マルチメディア AV大教室</p>	<p>〔講演〕 ポーランドの壁画 ラファオ・クーン(ニコラウス・コペルニクス大学) バハレーンの考古遺産 サルマン・アルマハーリ(バハレーン文化省考古遺産局) シリアの文化遺産の悲劇—現在の状況とこれから— ユーセフ・カンジョウ(シリア・アレppo国立博物館前館長) 〔ポスターセッション〕 西浦忠輝CHC研究員(国士館大学イラク古代文化研究所教授) 高島浩介CHC研究員(NPO法人カピ相談センター理事長/東京農業大学客員教授) 土戸哲明CHC研究員(大阪府立大学教授) アフメド・シュエイブCHC研究員(カイロ大学考古学部教授) 川崎英也CHC研究員(関西大学化学生命工学部教授) 吹田浩CHCセンター長(関西大学文学部教授) 荒川隆一CHC研究員(関西大学化学生命工学部特別契約教授) 森貴史CHC研究員(関西大学文学部教授) 柏木治CHC研究員(関西大学文学部教授) 浜本隆志CHC研究員(関西大学名誉教授) 岡絵理子CHC研究員(関西大学環境都市工学部教授) 中澤務CHC研究員(関西大学文学部教授) 〔講演〕 敦煌石窟壁画の修復材料および技術 蘇伯民(敦煌研究院保存研究所) 大エジプト博物館保存修復センター(GEM-CC)の人材育成のための国際協力事業 松田泰典(JICA専門家/東京文化財研究所) ～ベリーダンス演舞～ Belly Divas(関西大学ベリーダンスサークル) 〔パネルディスカッション〕 各国の文化財保護の現状と国際的なかわり 西浦忠輝CHC研究員(国士館大学イラク古代文化研究所教授) サルマン・アルマハーリ(バハレーン文化省考古遺産局) アフメド・シュエイブCHC研究員(カイロ大学考古学部教授) 蘇伯民(敦煌研究院保存研究所) 西形達明CHC研究員(関西大学環境都市工学部教授) 岡絵理子CHC研究員(関西大学環境都市工学部教授) 〔閉会挨拶〕 吹田浩CHCセンター長(関西大学文学部教授)</p>	53

【特別講演】

2013年度

テーマ:エジプト文化財の危機と今後

使用言語:英語

開催日	場所	プログラム	参加者数
2013/11/26	<p>関西大学 尚文館1階 マルチメディア AV大教室</p>	<p>挨拶: 楠見晴重(関西大学学長) 講演: モハメド・イブラヒム(エジプト・アラブ共和国考古大臣)</p>	69

テーマ: 関西大学のエジプト調査10年の歩み

使用言語: 日本語

開催日	場所	プログラム	参加者数
2014/1/25	関西大学 東京センター	〔講演〕 吹田浩CHCセンター長(関西大学文学部教授)	80

2014年度

テーマ: 現在のエジプトにおける政治的動向と市民の生活

使用言語: 英語

開催日	場所	プログラム	参加者数
2014/9/28	関西大学 総合研究室棟 2階 実験・講習室	〔講演〕 カマル・ガバラ(アル・アラハム新聞編集主幹)	15

2015年度

テーマ: エジプトにおける近年の考古学の発見

使用言語: 英語

開催日	場所	プログラム	参加者数
2015/9/18	関西大学 総合研究室棟 2階 実験・講習室	〔講演〕 ハーニー・アボエルアズム(エジプト考古省外国隊部門パーマネント・コミッティー総局長)	10

【研究集会】

2013年度

テーマ: エジプト学・文化財研究セミナー

使用言語: 英語

開催日	場所	プログラム	参加者数
2014/2/24	関西大学 総合研究室棟 2階 実験・講習室	〔講演〕 古代エジプトにおける言語と教育 サイード・コハリー(カイロ大学考古学部エジプト学科教授) アマルナ文書からみるエジプトと古代近東地域の外交関係 ナーセル・メッカーウィ(カイロ大学考古学部エジプト学科教授) アビドス神殿 サルワ・カーメル(カイロ大学考古学部エジプト学科教授)	11
2014/2/25	関西大学 総合研究室棟 2階 実験・講習室	〔講演〕 古代エジプト語における象形文字と語彙の意味関係 決定詞表音文字を中心に ヘバ・ヌーハ(カイロ大学考古学部エジプト学科教授) 古代エジプト史に適用される古代史研究の方法論 ザケーア・ザキ(カイロ大学考古学部エジプト学科教授) エジプト、オアシス地域における壁画の劣化状況に関する研究 古代エジプト壁画の修復と分析における新しい動向 モナ・フアード(カイロ大学考古学部保存修復学科教授) 石灰岩製の歴史建造物における生理科学的劣化 石灰岩と砂岩製の歴史建造物に対する強化の方法論 ムハンマド・アブデル・ハーディー(カイロ大学考古学部保存修復学科教授)	10
2014/2/26	関西大学 総合研究室棟 2階 実験・講習室	〔講演〕 パピルスの取り扱いと修復 パピルス製造に関する諸説 ワフィーカ・ノスヒー(カイロ大学考古学部保存修復学科教授) ファラオ時代における古代エジプトのガラス製造工程の技術 ローマ時代におけるガラス製造工程の技術	8

		サルワ・ガード・エル・カリーム(カイロ大学考古学部保存修復学科教授) アイヴァゾフスキーの油絵贋作の発見 デュシャンの森林の風景画—修復の材料、技術に関する研究 ムスタファ・アティア(カイロ大学考古学部保存修復学科教授)	
--	--	---	--

2015年度

テーマ:エジプト学・文化財研究セミナー

使用言語:英語

開催日	場所	プログラム	参加者数
2016/1/23	関西大学 総合研究室棟 2階 実験・講習室	〔講演〕 考古資料としてのガラスの劣化と保存に関する一研究 サルワ・ガードエルカリーム(カイロ大学考古学部保存修復学科教授) パピルス紙と写本資料の保存処置 ワフィーカ・ノスヒー・ワフバ(カイロ大学考古学部保存修復学科教授) 国際憲章と国際会議における歴史地区の保存 エルサイド・マフムード・エルバンナ(カイロ大学考古学部保存修復学科教授) 考古資料としてのミイラの保存処置を目的とした実験と応用研究 ゴマー・アブデルマスクード(カイロ大学考古学部保存修復学科教授)	19
2016/2/24	関西大学 総合研究室棟 2階 実験・講習室	〔講演〕 先史およびエジプト初期王朝時代の狩猟場面 ムスタファ・カーリーファ(カイロ大学考古学部エジプト学科教授) 王家の示威行為とその歴史的背景 ザケーア・ザキ・ガマルルディーン(カイロ大学考古学部エジプト学科教授) 古代メソポタミアの円筒印章に見る神へのとりなしの祈り スライマーン・エルワヘリー(カイロ大学考古学部エジプト学科准教授) エジプトの軍事会議—ヒクソス時代、トメス3世時代、ラメセス2世時代— モハセン・ネグメルディーン(カイロ大学考古学部エジプト学科准教授)	16

【講演会】

2013年度

テーマ:エジプト文化財の危機と今後

使用言語:英語

開催日	場所	プログラム	参加者数
2013/11/19	関西大学 総合研究室棟 2階 実験・講習室	〔講演〕 エジプト考古学における現実と挑戦 2011年1月のエジプト革命以降の観点から ハーニー・アフマド(考古最高評議会監督官) サッカーの文化財保護の現状と問題点 サブリー・ファラグ(サッカー遺跡管理事務所所長)	26
2013/11/20	関西大学 総合研究室棟 2階 実験・講習室	〔講演〕 サッカーで良い作業をするためあに必要なこと モスタファ・アブデル・ファッターハ(サッカー遺跡発掘管理事務所修復部門責任者) サッカーの文化財の現状 ナーセル・ファルガニ(サッカー遺跡管理事務所修復技術者) サッカーにおける修復作業の作業例 アシュラフ・ユーセフ(サッカー遺跡管理事務所修復技術者)	26

2014年度

テーマ:シリアの文化財とその現状 2015

使用言語:英語

開催日	場所	プログラム	参加者数
2015/3/18	関西大学 総合研究室棟 2階 実験・講習室	〔講演〕 ユーセフ・カンジョウ(シリア・アレッポ国立博物館前館長)	5

【研究会】

2013年度

テーマ:エジプト文化財の危機と今後—サッカラ村の調査から—

使用言語:英語

開催日	場所	プログラム	参加者数
2013/11/11	関西大学 総合研究室棟 2階 実験・講習室	[講演] サッカラ村での調査をふまえて バスマ・エル・カッティープ(観光省職員) サッカラ村の行政の実情 サミール・ハーシム(サッカラ村役場職員)	13
2013/11/14	関西大学 総合研究室棟 2階 実験・講習室	[講演] サッカラ遺跡と観光タクシー ユーセフ・アッワード(サッカラ村旅客運送業者) サッカラ村の就業の実情 ファイジー・ゲネーディー(サッカラ村旅客運送業者) サッカラ村と外国発掘隊の仕事 マルズーク・アブドルワーヒド(サッカラ村発掘作業員) エジプトの遺跡調査にかかわって サイード・アブカリーム(サッカラ村発掘作業員)	13

2014年度

テーマ:エジプト政権の動向と国際関係

使用言語:英語

開催日	場所	プログラム	参加者数
2014/9/28	関西大学 総合研究室棟 2階 実験・講習室	[講演] カマル・ガバラ(アル・アラハム新聞編集主幹)	5

テーマ:岩盤研究会

使用言語:英語

開催日	場所	プログラム	参加者数
2015/1/27	関西大学 総合研究室棟 2階 実験・講習室	[講演] サッカラ、イドウトの岩盤強化策 エマド・モーガン(大成建設(株)カイロオフィス技術責任者)	12

テーマ:マチュピチュ遺跡—日本とペルーにおける共同研究の今後—

使用言語:スペイン語

開催日	場所	プログラム	参加者数
2015/3/2	関西大学 総合研究室棟 2階 実験・講習室	[講演] ピエダッド・チャンピ(ペルー政府文化省マチュピチュ遺跡保護管理事務所保存部長) グラディス・ファルパリマテ(ペルー政府文化省マチュピチュ遺跡保護管理事務所保存主任)	11

2015年度

テーマ:イスラーム教と他宗教の共存およびイスラーム教宗派間の共存

使用言語:アラビア語・英語・日本語

開催日	場所	プログラム	参加者数
2016/3/24	関西大学 総合研究室棟 2階 多目的室	マジェッド・ナフス(エジプト・アズハル大学)	6

【セミナー】

2013年度

テーマ:文化財保存修復専門家養成実践セミナー

使用言語:日本語

開催日	場所	プログラム	参加者数
2014/3/5	関西大学 総合研究室棟 2階 実験・講習室	〔講義〕 人間、文化、歴史と文化遺産—人類の未来を考えるために— 西浦忠輝CHC研究員(国士舘大学イラク古代文化研究所教授) 遺跡と建造物 上野邦一(奈良女子大学古代学学術研究センター特任教授)	24
2014/3/6	関西大学 総合研究室棟 2階 実験・講習室	〔講義〕 文化財と社会 天野幸弘(元朝日新聞編集委員) 世界遺産を考える—奈良から国際協力— 西村康(公益財団法人ユネスコ・アジア文化センター文化遺産保護協力事務所長) 絵画をかたちづくるもの:絵具の科学 園田直子(国立民族学博物館文化資源研究センター教授) 文化財保護における国際協力(Ⅰ) 澤田正昭CHC研究員	
2014/3/7	関西大学 総合研究室棟 2階 実験・講習室	〔講義〕 木材の特質と木造文化財保存の基礎 石造文化財の保存修復 西浦忠輝CHC研究員(国士舘大学イラク古代文化研究所教授) 文化財保存と大気環境—文化財に及ぼす大気汚染の影響とその防衛— 西山要一(奈良大学教授) 文化財の生物劣化と対策(Ⅰ)カビ 高鳥浩介CHC研究員(NPO法人カビ相談センター理事長/東京農業大学客員教授)	
2014/3/8	関西大学 総合研究室棟 2階 実験・講習室	〔講義〕 文化財と自然科学 文化遺産の保存と活用 澤田正昭CHC研究員 金属材料学の基礎 桐野文良(東京藝術大学大学院教授) 漆工芸をまもり伝える 北村繁(漆工芸家)	
2014/3/9	関西大学 総合研究室棟 2階 実験・講習室	〔講義〕 文化財保護の歴史と行政 井上敏(桃山学院大学准教授) 博物館における文化財の展示・収蔵環境 博物館と保存科学—保存科学が果たす役割 魚島純一(奈良大学准教授)	
2014/3/10	関西大学 総合研究室棟 2階 実験・講習室	〔講義〕 災害と文化財救援活動—東日本大震災の事例から— 日高真吾(国立民族学博物館文化資源研究センター准教授) 表装技術(装幀技術)による文化財修理 岡興造(株式会社岡墨光堂会長) 歴史資料の保存修復 大林賢太郎(京都造形芸術大学教授) 文化財保護における国際協力(Ⅱ) 吹田浩CHCセンター長(関西大学文学部教授)	
2014/3/11	関西大学 総合研究室棟 2階 実験・講習室	〔講義〕 考古遺物(保護と活用)—保存修復に携わって— 増澤文武 (財団法人元興寺文化財研究所名誉研究員理事/NPO法人文化財保存支援機構理事) 民俗文化財の保存と活用法 伊達仁美(京都造形芸術大学教授)	

2014年度

テーマ:文化財保存修復専門家養成実践セミナー

使用言語:日本語

開催日	場所	プログラム	参加者数
2015/2/22	関西大学 総合研究室棟 2階 実験・講習室	〔講義〕 人間、文化、歴史と文化遺産—人類の未来を考えるために— 西浦忠輝CHC研究員(国士舘大学イラク古代文化研究所教授) 国際協力 文化財と自然科学 沢田正昭CHC研究員(東北芸術工科大学文化財保存修復センター長)	26
2015/2/23	関西大学 総合研究室棟 2階 実験・講習室	〔講義〕 文化財各論(保護と活用)「美術工芸品(Ⅱ)漆」 北村繁(漆工芸家) 災害と文化財救援活動—東日本大震災の事例から 日高真吾(国立民族学博物館文化資源研究センター准教授) 表装技術による文化財修理 岡興造(株式会社岡墨光堂会長) 文化遺産の保存と活用 平澤毅(独立行政法人国立文化財機構文化遺産部景観研究室長)	
2015/2/24	関西大学 総合研究室棟 2階 実験・講習室	〔講義〕 文化財と社会 天野幸弘(元朝日新聞編集委員) 基礎構造力学 伊藤淳志CHC研究員(関西大学環境都市工学部教授) 木材の特質と木造文化財保存の基礎 石造文化財の保存修復 西浦忠輝CHC研究員(国士舘大学イラク古代文化研究所教授)	
2015/2/25	関西大学 総合研究室棟 2階 実験・講習室	〔講義〕 自然と文化財 西山要一(奈良大学教授) “考古遺物(保護と活用)”—自然科学・技術面で捉えると— 増澤文武 (財団法人元興寺文化財研究所名誉研究員理事/NPO法人文化財保存支援機構理事) 文化財保護制度の歴史 井上敏(桃山学院大学准教授)	
2015/2/26	関西大学 総合研究室棟 2階 実験・講習室	〔講義〕 遺跡と文化財 上野邦一(奈良女子大学古代学学術研究センター特任教授) 文化財材料学の基礎—金属 桐野文良(東京藝術大学大学院教授) 絵画をかたちづくるもの:絵具の科学 園田直子(国立民族学博物館文化資源研究センター教授)	
2015/2/27	関西大学 総合研究室棟 2階 実験・講習室	〔講義〕 民族資料の保存とその活用 伊達仁美(京都造形芸術大学教授) 文化財と環境「文化財の生物劣化と対策 カビ」 高鳥浩介CHC研究員(NPO法人カビ相談センター理事長/東京農業大学客員教授) 博物館における文化財の展示・収蔵環境 博物館と保存科学～保存科学が果たす役割～ 魚島純一(奈良大学准教授)	
2015/2/28	関西大学 総合研究室棟 2階 実験・講習室	〔講義〕 世界遺産を考える—奈良から国際協力— 西村康(公益財団法人ユネスコ・アジア文化センター文化遺産保護協力事務所長) 歴史資料 大林賢太郎(京都造形芸術大学教授) 非破壊的な調査の体験—光を使った文化財の調査方法— 文化財の形に触れて感じて考える 今津節生(九州国立博物館課長)	

2015年度

テーマ:文化財保存修復専門家養成実践セミナー

使用言語:日本語

開催日	場所	プログラム	参加者数
2016/2/20	関西大学 総合研究室棟 2階 実験・講習室	〔講義〕 基礎文化財論 西浦忠輝CHC研究員(国士舘大学イラク古代文化研究所教授) 文化と文化遺産 柏木治CHC研究員(関西大学文学部教授) 社会と文化財 天野幸弘(元朝日新聞編集委員) 文化財と自然科学 成瀬正和(宮内庁正倉院事務所)	20
2016/2/21	関西大学 総合研究室棟 2階 実験・講習室	〔講義〕 木造文化財 西浦忠輝CHC研究員(国士舘大学イラク古代文化研究所教授) 世界遺産を考える 西村康(公益財団法人ユネスコ・アジア文化センター文化遺産保護協力事務所長) 美術工芸品(漆) 北村繁(漆工芸家) 金属文化財 桐野文良(東京藝術大学大学院教授)	
2016/2/22	関西大学 総合研究室棟 2階 実験・講習室	〔講義〕 文化財保護と行政 現状と課題 井上敏(桃山学院大学准教授) 歴史資料 WS「紙と和紙」 大林賢太郎(京都造形芸術大学教授)	
2016/2/23	関西大学 総合研究室棟 2階 実験・講習室	〔講義〕 地盤と文化財建築 伊藤淳志CHC研究員(関西大学環境都市工学部教授) 文化財と国際協力 沢田正昭CHC研究員(東北芸術工科大学文化財保存修復センター長) 遺跡と建造物 上野邦一(奈良女子大学古代学学術研究センター特任教授) 文化財構造物 西形達明(関西大学環境都市工学部教授)	
2016/2/24	関西大学 総合研究室棟 2階 実験・講習室	〔講義〕 民族資料 伊達仁美(京都造形芸術大学教授) 考古遺物 増澤文武 (財団法人元興寺文化財研究所名誉研究員理事/NPO法人文化財保存支援機構理事) 〔実習〕 計測、修復 今津節生(九州国立博物館課長)	
2016/2/25	国立民族学博物館	〔講義〕 民族資料の保存管理 日高真吾(国立民族学博物館文化資源研究センター准教授) 美術工芸品(絵画) 園田直子(国立民族学博物館文化資源研究センター教授)	
2016/2/26	関西大学 総合研究室棟 2階 実験・講習室	〔講義〕 石造文化財 西浦忠輝CHC研究員(国士舘大学イラク古代文化研究所教授) 文化財の生物劣化と対策 高鳥浩介CHC研究員(NPO法人カビ相談センター理事長/東京農業大学客員教授) 博物館と文化財 魚島純一(奈良大学准教授)	

【ワークショップ】

2015年度

テーマ: Recent Activities in Cultural Heritag

使用言語: 英語

開催日	場所	プログラム	参加者数
2016/2/29	関西大学 総合研究室棟 2階 実験・講習室	The History of the Complex of Zose サブリ・ファラグ(エジプト考古省サッカラ遺跡管理事務所) The Serapeum Tomb: History and Architectur ハムディ・アミン(エジプト考古省サッカラ遺跡管理事務所) Scientific Study of the Step Pyramid Projec アシュラフ・ユーセフ(エジプト考古省サッカラ地区修復部門) Conservation Activities in Egypt モスタファ・アブデルファッターハ(エジプト考古省ギザ地域保存修復部門) Present Crisis of Cultural Properties in Syr ユーセフ・カンジョウ(シリア・アレppo国立博物館前館長) Conservation Activity in Dunhuan 蘇伯民(敦煌研究院保存研究所) Burial Mounds in Bahrai サルマン・アルマハーリ(バハレーン文化省考古遺産局)	8

【その他】

2013年度

テーマ: 中期エジプト語講座 初級

使用言語: 日本語

開催日	場所	プログラム	参加者数
2013/12/7・ 14・21・ 2014/1/11	関西大学 総合研究室棟 2階 実験・講習室	講師: 吹田浩CHCセンター長(関西大学文学部教授)	18

2014年度

テーマ: 中期エジプト語講座 初級

使用言語: 日本語

開催日	場所	プログラム	参加者数
2014/12/13・ 20 2015/1/17・20	関西大学 総合研究室棟 2階 実験・講習室	講師: 吹田浩CHCセンター長(関西大学文学部教授)	31

2015年度

テーマ: 日本物理学会2015秋季大会市民科学講演会 科学技術と私たちの暮らし

使用言語: 日本語

開催日	場所	プログラム	参加者数
2015/9/20	関西大学 千里山キャンパス 100周年記念 会館	蓄電技術によるエネルギー 高効率利用社会の幕開け 石川正司(関西大学化学生命工学部教授) 古代エジプト文明の技術 吹田浩CHCセンター長(関西大学文学部教授)	確認 できず

テーマ: 中期エジプト語講座 初級

使用言語: 日本語

開催日	場所	プログラム	参加者数
2015/10/10・ 24・31・11/7	関西大学 総合研究室棟 2階 実験・講習室	講師: 吹田浩CHCセンター長(関西大学文学部教授)	21

テーマ:中期エジプト語講座 中級

使用言語:日本語

開催日	場所	プログラム	参加者数
2015/12/12・ 19・1/9	関西大学 総合研究室棟 2階 実験・講習室	講師: 吹田浩CHCセンター長(関西大学文学部教授)	20

CHC Kansai University

文部科学省私立大学戦略的研究基盤形成支援事業
関西大学国際文化財・文化研究センター (CHC)

エジプト文化財の危機と今後 —サッカラ村の調査から—



日時：平成25年11月11日(月) 14日(木)

聴講：無料 ※お気軽にご参加ください。



場所：関西大学国際文化財・文化研究センター 講習室 (総合研究棟2F)

〒564-8680 大阪府吹田市山手町3丁目3番35号
TEL: 06-6368-1111(内線番号3242, 又は3249) FAX: 06-6368-0235
Address: 3-3-35 Yamate-cho, Suita-shi, Osaka 564-8680 JAPAN
E-Mail: chc-jim@ml.kandai.jp

URL: <http://www.kansai-u.ac.jp/chc/index.html>

関西大学 国際文化財・文化研究センター
Kansai University Center for Global Study of Cultural Heritage and Culture

CHC Kansai University

文部科学省私立大学戦略的研究基盤形成支援事業
関西大学国際文化財・文化研究センター (CHC)

エジプト文化財の危機と今後 Crisis of Egyptian Monuments and the Future エジプト文化財の修復の実践—サッカラを中心に— Practice of Conservation and Restoration for Egyptian Antiquities: Mainly in Saqqara



日時：2013年11月19日(火) 20日(水)

聴講：無料 (出入り自由) 使用言語：英語のみ

場所：関西大学国際文化財・文化研究センター 講習室 (関西大学総合研究棟2階)


〒564-8680 大阪府吹田市山手町3丁目3番35号
Address: 3-3-35 Yamate-cho, Suita-shi, Osaka 564-8680 JAPAN
TEL: 06-6368-1111(内線番号3242, 又は3249) FAX: 06-6368-0235
URL: <http://www.kansai-u.ac.jp/chc/index.html> E-Mail: chc-jim@ml.kandai.jp

関西大学 国際文化財・文化研究センター
Kansai University Center for Global Study of Cultural Heritage and Culture

CHC Kansai University

文部科学省私立大学戦略的研究基盤形成支援事業
関西大学国際文化財・文化研究センター (CHC)

特別講演 平成25年11月26日(火) 13:00 ~ 14:30 関西大学大学院棟 尚文館1階 マルチメディア AV 大教室




Prof. Dr. Mohamed Ibrahim
(モハメド・イブラヒム博士)
Minister of State for Antiquities
(考古大臣, エジプト・アラブ共和国)

「エジプト文化財の危機と今後」 Crisis of Egyptian Monuments and the Future

来聴歓迎
※あらかじめ、お申込み下さい。

エジプトの文化財に今、何が起きているのか？
当局はどのように対応しようとしているのか？
考古大臣から、正確な情報を話していただきます。

【申し込み・お問い合わせ先】
関西大学国際文化財・文化研究センター
〒564-8680 大阪府吹田市山手町3-3-35
TEL: 06-6368-1111 (内線番号 3242 又は 3249)
FAX: 06-6368-0235
Email: chc-jim@ml.kandai.jp
URL: <http://www.kansai-u.ac.jp/chc/>



千早山キャンパス
Sanyama Campus

関西大学 国際文化財・文化研究センター
CHC, Kansai University

中期エジプト語講座 初級



関西大学国際文化財・文化研究センターは、中期エジプト語の講座を開講します。中期エジプト語は、古代エジプトの3千年の歴史の中で最も基本的なもので、エジプト学は、誰もこの言語を初めに勉強します。本講座は、中期エジプト語の文法をみっちり勉強します。4日間の集中講義によって、古代エジプト語を読む自信を持つことができます。講座終了時には受講者の皆様に「修了証」を進呈します。社会人や学生の皆さんで関心のある方は、奮ってご参加ください。

<開催日時>
平成25年 12月7日(土) 14日(土) 21日(土)
平成26年 1月11日(土)
各講座とも 10:00-17:30の間に6コマ実施

<場所>
関西大学 総合研究棟2階
国際文化財・文化研究センター

<講師>
吹田 浩
(関西大学 国際文化財・文化研究センター長)

<対象>
・初めてエジプト語を学ぶ方
・エジプト語に興味のある方

<申込方法>
参加希望者は電子メールで件名を「中期エジプト語講座 初級」とし、
①氏名(ふりがな) ②連絡先電話番号 ③年齢
を明記のうえ、下記メールアドレスまでお送りください。
学習経験のある方は別途お問い合わせください。
※11月22日締切(定員になり次第締め切らせていただきます。)

<応募先>
関西大学国際文化財・文化研究センター
メールアドレス: chc-jim@ml.kandai.jp



千早山キャンパス
Sanyama Campus

〒564-8680
大阪府吹田市山手町3丁目3番35号
関西大学 総合研究棟2階
国際文化財・文化研究センター
Tel: 06-6368-1456 Fax: 06-6368-1457
URL: <http://www.kansai-u.ac.jp/chc/>
Twitter: @CHC_KU
Facebook: <http://www.facebook.com/Egypt.Kansai.University>



関西大学東京センター × 関西大学国際文化財・文化研究センター 共催

特別講演会

『関西大学のエジプト調査10年の歩み』

講師／吹田 浩 関西大学文学部教授、関西大学国際文化財・文化研究センター所長

関西大学は、2003年にサッカラで古代壁画の修復のための研究を始めました。日本・エジプト合同マスタバ・イデオット調査ミッションとして、日本とエジプトが対等な関係で調査することをモットーにしています。エジプトの遺跡管理当局、カイロ大学考古学部、遺跡所在地のサッカラ村のいづれとも良好な関係にあり、これが、エジプト学、異文化研究、さらに化学分析、抗菌抗酸化学、建築土木工学など文理融合型の多様な研究を行う基盤になっています。また、サッカラ村と遺跡とのかかわりをも研究対象にしており、国際的にもこれほど多様な調査を行っている調査隊はありません。



- 開催日 平成26年1月25日(土) 13:30~15:00
- 場所 関西大学東京センター
- 申込締切 平成26年1月15日(水) 必着
- 受講料 無料



吹田 浩(すいた ひろし)

1985年本学西洋史を卒業。'87年本学大学院博士課程前期退学を修了。'92年に本学専任講師として母校に復任し、'95年に助教授、2002年から教授。本学在学中から加藤一朗名譽教授に師事してエジプト象形文字を習得し、古代エジプトの宗教研究に取り組みその後も、難解なエロギリフ資料を試訳して、それをもとめて論を立てるといふヨーロッパ流の本格的な研究姿勢を示している。現在は、古代エジプトの文化史の研究に加え、エジプトの遺跡の保存修復活動にも関心をもっており、カイロ大学考古学部の教員やポーランドの大学の教員などと共同で研究を進めている。03年からは、サッカラにあるイデオットという名の女性のマスタバ墓の地下埋葬室壁画の調査を始め、この地域の壁画の修復技術を世界で初めて開発しようとしている。



文部科学省私立大学戦略的研究基盤形成支援事業
関西大学国際文化財・文化研究センター(CHC)

エジプト学・文化財研究セミナー Seminar on Egyptology and Monuments

関西大学国際文化財・文化研究センター(CHC)は、カイロ大学考古学部の研究者10名によるエジプト学とエジプト文化財保存の研究分野についての研究集会を開催します。この研究集会は専門的かつ多面的なアプローチを行う日本初の試みとなります。エジプトや文化財に興味のある多数の方のご来場を歓迎いたします。

日時：2014年2月24日(月)~2月26日(水)

場所：関西大学国際文化財・文化研究センター

参加費：無料

実験・講習室(総合研究室棟2階)

使用言語：英語

2月24日(月)		2月25日(火)		2月26日(水)	
10:40~12:10	サイード・コハリー (エジプト語) Said Cohary (Language) 「古代エジプトにおける言語と教育」 Language and Education in Ancient Egypt	10:40~12:10	ヘバ・ヌーハ (エジプト語) Heba Noubh (Language) 「古代エジプト語における象形文字と語彙の意味関係 決定詞、表音文字を中心に」 The Semantic Relations between the Hieroglyphic Signs and the Meaning of Words in Ancient Egyptian Language (Determinatives and Phonetic Signs)	10:40~12:10	ワフィーカ・ノスビー(パピルス修復) Wafika Noshy (Papyrus) 「パピルスの取り扱いと修復」 Treatment and Conservation of Papyrus 「パピルス製造に関する諸説」 Theories of Manufacture of Papyrus
2:13:00~14:30	ナーセル・メックアウイ (歴史学) Nasser Mekawy (History) 「アマルナ文書からみるエジプトと古代近東地域の外交関係」 Diplomacy between Egypt and the Ancient Near East through the Amarna Letters	2:13:00~14:30	ザケーア・ザキ (歴史学) Zakia Zaki (History) 「古代エジプト史に適用される古代史研究の方法論」 The Methodology for Studying Ancient History Applied to Ancient Egyptian History	2:13:00~14:30	サルワ・ガード・エル・カリーム (ガラス修復) Salwa Gad el Karim (Glass) 「ファラオ時代における古代エジプトのガラス製造工程の技術」 Technology of Glass Making Processes in Ancient Egypt (Pharaonic Era) 「ローマ時代におけるガラス製造工程の技術」 Technology of Glass Making Processes during Roman Period
3:14:40~16:10	サルワ・カーメル (考古学) Salwa Kamel (Archaeology) 「アビドス神殿」 The Temple of Abydos	3:14:40~16:10	モナ・フアード (壁画修復) Mona Fouad (Wall Painting) 「エジプト、オアシス地域における壁画の劣化状況に関する研究」 Study on the Deterioration Aspect of Mural Painting in Egyptian Oasis 「古代エジプト壁画の修復と分析における新しい動向」 New Trend in the Analysis and Conservation of Ancient Egyptian Mural Painting	3:14:40~16:10	ムスタファ・アティア (油絵修復) Mustafa Attia (Oil Painting) 「アイヴァツフスキーの油絵制作の発見」 Detecting of a Forgery of Aivazovsky's Oil Painting 「デュシャンの森林の風景画 修復の材料、技術に関する研究」 Forest Landscape of Deschamps : A Study of Materials and Techniques for Conservation
〒564-8680 大阪府吹田市山手町3-1-3 3F Address: 3-3-3 Yamato-cho, Suita-shi, Osaka 564-8680 Japan Tel: 06-6368-1111(内線番号3920) Fax: 06-6368-1457 URL: http://www.kansai-u.ac.jp/che/index.html E-Mail: che_jim@nil.kandai.jp 関西大学国際文化財・文化研究センター Center for the Global Study of Cultural Heritage and Culture, Kansai University		3:16:20~17:50	ムハンマド・アブデル・ハーディ (石材修復) Mohamed Abd el-Hady (Stone) 「石灰岩製の歴史建造物における生理科学的劣化」 Physio-Chemical Deterioration of Historical Building of Limestone 「石灰岩と砂岩製の歴史建造物に対する強化の方法論」 Methodology of Consolidation of Historical Building of Limestone and Sandstone		



平成 25 年度 文化財保存修復セミナー 応募要項

— 文部科学省私立大学戦略的研究基盤形成支援事業 —



関西大学 国際文化財・文化研究センター

協力：特定非営利活動法人 文化財保存支援機構



「文化財保存修復セミナー」開催趣旨

昨今のグローバル化の流れの中で、文化、あるいは文化財を介した国際交流は益々重要な位置を占めています。一方これからの担う世代の中でも、伝統的なものづくりや、歴史遺産への興味が高まっています。こうした背景には、文化を愛し、そこから産み出された文化財を大切にす日本社会の長い伝統があります。昨今の学生や社会人の中にも、文化——とりわけ文化財に関わりたいと希望する方々が数多く存在しています。

これを受けて、関西大学 国際文化財・文化研究センターでは、文部科学省私立大学戦略的研究基盤形成支援事業の中で、「文化財保存修復セミナー」を開催する運びとなりました。講師陣には既に現場で活躍している研究者、技術者など、一流の専門家を迎え、今まで文化財に全く触れたことのない方にも分かりやすく授業を行います。

将来の文化財専門家への一歩として、共に学んでいきましょう。

- 定員：30名
- 参加資格：大学生で文化財関係を学ぼうとする者
一般社会人で文化財保護に強い関心を持ち学ぼうとする者
※希望者多数の場合は主催者が選抜。
- 受講時間数：42時間(7日)
講義39時間 / 実技・見学等3時間
- 実施期間：平成26年3月5日(水)、6日(木)、7日(金)、8日(土)、9日(日)、10日(月)、11日(火) 全7日間
- 時間：9:30~11:00、11:00~12:30、14:00~15:30、15:30~17:00
(1講義:1.5時間/1日:4講義が原則。ただし3時間の講義もあります。)
- 場所：関西大学 国際文化財・文化研究センター 実験・講習室
大阪府吹田市山手町3-3-35 関西大学千里山キャンパス 総合研究室棟2階
(阪急千里線「関大前」駅 徒歩約10分)
詳細は以下のURLをご確認ください。(15の建物)
<http://www.kansai-u.ac.jp/global/guide/mapsenri.html>
必要に応じて展示室や修理室の見学、その他の博物館、修理施設等。

■参加費：一般 20,000円 / 学生・院生 10,000円 / 関西大学生・院生 5,000円

■受講者の特典：全日程履修者には修了証書を授与します。※

※止むを得ない事情で欠席する場合はこの限りではありません。ご相談下さい。

■応募期間：平成26年2月21日(金)まで

■応募方法：申し込み用紙に必要事項<①氏名 ②年齢 ③連絡先住所 ④連絡先電話番号、FAX番号、メールアドレス等 ⑤所属機関、部署(学生の場合は、専攻コース名など) ⑥専門の会員の有無 ⑦略歴>を記入の上、NPO法人文化財保存支援機構事務局あて、FAX、郵送あるいはe-mail添付にてお送り下さい。

文部科学省私立大学戦略的研究基盤形成支援事業
関西大学国際文化財・文化研究センター (CHC)

研究会

「エジプト政権の動向と国際関係」

Movement of Egyptian Government and International Relations

Kamal Gaballa

(カマル・ガバラ)

(アル・アハラム新聞コラムニスト、元編集長、エジプト)

平成 26 年 9 月 28 日 (日)
9:00 ~ 10:00

関西大学国際文化財・文化研究センター
講習室 (関西大学総合研究室棟 2 階)

※あらかじめ、メールにてお申込みください。
chc-jim@ml.kandai.jp
お申込み多数の場合は先着順。

エジプトの政治に今、何が起きているのか？市民の生活への影響は？混迷するエジプト情勢を現地の新聞記者から話していただきます。

【申し込み・お問い合わせ先】
関西大学国際文化財・文化研究センター
〒564-8680 大阪府吹田市山手町 3-3-35
TEL: 06-6368-1111
(内線番号 3242 又は 3249)
FAX: 06-6368-0235
Email: chc-jim@ml.kandai.jp
URL: <http://www.kansai-u.ac.jp/chc/>

文部科学省私立大学戦略的研究基盤形成支援事業
関西大学国際文化財・文化研究センター (CHC)

特別講演

「現在のエジプトにおける政治的動向と市民の生活」

Current Movement of Politics and Daily Life in Egypt

Kamal Gaballa

(カマル・ガバラ)

(アル・アハラム新聞コラムニスト、元編集長、エジプト)

平成 26 年 9 月 28 日 (日)
11:00 ~ 12:00

関西大学国際文化財・文化研究センター
講習室 (関西大学総合研究室棟 2 階)

※あらかじめ、メールにてお申込みください。
chc-jim@ml.kandai.jp
お申込み多数の場合は先着順。

エジプトの政治に今、何が起きているのか？市民の生活への影響は？混迷するエジプト情勢を現地の新聞記者から話していただきます。

【申し込み・お問い合わせ先】
関西大学国際文化財・文化研究センター
〒564-8680 大阪府吹田市山手町 3-3-35
TEL: 06-6368-1111
(内線番号 3242 又は 3249)
FAX: 06-6368-0235
Email: chc-jim@ml.kandai.jp
URL: <http://www.kansai-u.ac.jp/chc/>



中期エジプト語講座 初級

関西大学国際文化財・文化研究センターでは、中期エジプトの講座を開講します。
中期エジプト語は、古代エジプトの3000年の歴史の中で使用された文字の最も基本的なもので、この言語の習得は、エジプト学の研究の第一歩となっています。本講座では、4日間の集中講義を通して、古代エジプト語を読む力と自信を持つことができます。講座終了時には、受講者の皆様に修了証を差し上げます。社会人や学生の方で関心をお持ちの方は、奮ってご参加ください。

<開講日時>

平成26年 12月13日(土) 20日(土)
平成27年 1月10日(土) 17日(土)
(各講座とも10:40~1/30の周で6コマ実施)

※講座の内容は、前年度実施した中期エジプト語の講座と同じものといたします。
前年度に参加された方も参加できますので、もう一度基礎の学習に取り組みたい方という方も、ご参加ください。
※中期エジプト語講座 中級 (いつかまでは、次年度に受講予定となっております)

<開講場所>

関西大学 総合研究棟2階
国際文化財・文化研究センター 講習室

<対象>

・初めて古代エジプト語を学ぶ方
・古代エジプト語に興味のある方

<講師>

吹田浩 (関西大学国際文化財・文化研究センター長)

<申込方法>

参加希望者は、電子メールにて、件名を「中期エジプト語講座 初級」とし、
①氏名(ふりがな)、②連絡先(電話番号)、③年齢
を明記のうえ、下記メールアドレスまでお送りください。
また、学習経験のある方は、別途お知らせください。
※ 11月28日締切(定員に達し次第、締め切らせて頂く場合があります)

<申込先>

関西大学国際文化財・文化研究センター
メールアドレス: chc-jim@ml.kandai.jp

564-8650

大阪府吹田市山手町3-3-35

関西大学 総合研究棟2階

国際文化財・文化研究センター

Tel: 06-6368-1456 Fax: 06-6368-1457

URL: www.kansai-u.ac.jp/chc/ Twitter: @CHC_KU

Facebook: https://www.facebook.com/Egypt.KansaiUniversity



iwy m htp
ようこそ!



国際文化財・文化研究センター 岩盤研究会

主催：国際文化財・文化研究センター

場所：総合研究棟2階 実験・講習室

日時：2015年1月27日(火) 10:00~15:00

発表者及び題目

EMAD BOLIS BEKHEET MORGAN (大成建設株式会社カイオオフィス技術責任者)

10:00~10:30 サッカラ、イドワートの岩盤強化策

10:40~12:40 討論(質疑応答含む)

<12:40~14:00 昼食休憩>

14:00~15:00 エジプトの建築工法・岩盤対策の特殊性



平成26年度

文化財保存修復セミナー

応募要項

一文部科学省私立大学戦略的研究基盤形成支援事業一



関西大学 国際文化財・文化研究センター

「文化財保存修復セミナー」開催趣旨

昨今のグローバル化の流れの中で、文化、あるいは文化財を介した国際交流は益々重要な位置を占めています。一方これからの担う世代の中でも、伝統的なものづくりや、歴史遺産への興味が高まっています。こうした背景には、文化を愛し、そこから産み出された文化財を大切にしたいという日本人の長い伝統があります。昨今の学生や社会人の中にも、文化——とりわけ文化財に関わり合いと高関する方が数多く存在しています。
これを受けて、関西大学国際文化財・文化研究センターでは、文部科学省私立大学戦略的研究基盤形成支援事業の中で、「文化財保存修復セミナー」を開催する運びとなりました。講師には既に現場で活躍している研究者、技術者など一連の専門家を迎え、今まで文化財に関心を持っていた方にも分かりやすく授業を行います。また、今回は修復作業の基本となる簡単な実習も行います。
将来的な文化財専門家への一歩として、共に学んでいきましょう。

- 定員：30名
- 参加資格：大学生で文化財関係を学ぼうとする者
一般社会人で文化財保護に強い関心を持ち学ぼうとする者
※希望者多数の場合は主催者が選抜。
- 受講時間数：48時間(6日)
講義39時間 / 実習・見学等9時間
- 実施期間：平成27年2月22日(日)、23日(月)、24日(火)、25日(水)、26日(木)、27日(金)、
28日(土)、3月1日(日)
全8日間
- 時間：9:30~11:00、11:00~12:30、14:00~15:30、15:30~17:00
(1講義:1.5時間/1日:4講義が原則。ただし3時間の講義もあります。)
- 場 所：関西大学 国際文化財・文化研究センター 実験・講習室
大阪府吹田市山手町3-3-35 関西大学千里山キャンパス 総合研究棟2階
(阪急千里線「田辺駅」駅 徒歩約10分)
詳細は以下のURLをご確認ください。(15の建物)
<http://www.kansai-u.ac.jp/global/guide/ansocon.html>

■参加費：一般 20,000円 / 学生・院生 10,000円 / 関西大学学生・院生 5,000円
※当日、学生の方は学生証をご持参ください。

- 受講者の特典：全日程修了者には修了証書を授与します。
※お礼の品物や食事の場合はこの限りではありません。ご祈願下さい。
- 応募期間：平成27年1月25日(日)まで
- 応募方法：申し込み用紙に必要事項①氏名 ②年齢 ③連絡先住所 ④連絡先電話番号、
FAX番号、メールアドレス等 ⑤所属機関、部署(学生の場合は、専攻コース名など) ⑥専門
⑦略歴を記入の上、株式会社ミュージズ(裏面参照)まで、FAX、郵送あるいはe-mail添付にて
お送り下さい。
申し込み用紙は下記 URL よりダウンロードもできます。
<http://www.kansai-u.ac.jp/chc/image/seminar/H26seminar-form.doc>

公開シンポジウム

天空の古代都市「マチュピチュ遺跡」を護れ -日本・ペルー国際共同研究の成果-

特別講演

「マチュピチュ遺跡の歴史とその保護・活用」



ピエダッド・チャンピ
ペルー文化省マチュピチュ遺跡保護管理事務所



グラディス・ファルバリマチ
ペルー文化省マチュピチュ遺跡保護管理事務所

<日時・会場>

各会場、入場無料・申込不要・先着500名

東京会場 平成27年2月28日(土) 13:00~17:20
国士舘大学 多目的ホール(世田谷区)

大阪会場 平成27年3月1日(日) 13:00~16:50
関西大学 千里ホール A・B(吹田市)

※詳細は裏面をご覧ください。

主催 国士舘大学・関西大学国際文化財・文化研究センター

後援 〓ペルー文化省、在日ペルー大使館、朝日新聞社、(独)東京文化財研究所、(社)文化財保存修復学会、日本文化財科学会、日本イコモス国内委員会、(公社)日本ユネスコ協会連盟、文化遺産国際協力コンソーシアム、(社)ラテンアメリカ協会、日本ラテンアメリカ学会、古代アメリカ学会、日本ペルー協会、NPO文化財保存支援機構 他

問い合わせ先 全般・東京会場：国士舘大学イラク古代文化研究所(担当：小野間)
(電話)03-5451-1926(内線3406) (電子メール) onoma@kokushikan.ac.jp
大阪会場：関西大学国際文化財・文化研究センター
(電話)06-6368-1111(内線3242) (電子メール) chc-jim@ml.kandai.jp

本シンポジウムは文科省科学研究費(課題番号2440400)「代表者 西浦忠輝(国士舘大学)と関西大学国際文化財・文化研究センター研究員 文科省私立大学戦略的基礎形成支援事業」ならびに朝日新聞文化財奨励会により開催するものです。<本シンポジウムのURL: <http://gokai.jp/machu-pichu/>>

平成27年2月28日(土) 東京会場のプログラム

- 12:00 開場
- 13:00 開会(総合司会 岡田 保良<国士舘大学>)
挨拶<国士舘大学学長>三浦 信行
- 13:10 特別講演「マチュピチュ遺跡の歴史とその保護・活用」(遠次選択付)
ペルー文化省マチュピチュ遺跡保護管理事務所 ピエダッド・チャンピ、グラディス・ファルバリマチ
- 14:30 「太陽の神殿の保存修復に向けて：共同研究プロジェクトの成果」 プロジェクト代表 西浦 忠輝(国士舘大学)
- 15:00 休憩(15分)
- 15:15 「デジタルアーカイブで残す：太陽の神殿の三次元計測」 泉田 英明・小野 勇(国士舘大学)
- 15:35 「地震で崩壊？ 遺構の構造耐力を調べる」 伊藤 淳志・西形 達明(関西大学)
- 15:55 「知られざるウルバンバ」深谷 浩司(保護、活用と地域発展) 藤田 晴啓(新潟国際情報大学)
- 16:15 休憩(5分)
- 16:20 パネルディスカッション「より良い保存修復と活用：今後に向けて」
コーディネーター 文野 幸弘(朝日新聞社)
パネリスト：ピエダッド・チャンピ、西浦 忠輝、伊藤 淳志、藤田 晴啓
- 17:15 閉会の辞(岡田 保良)



平成27年3月1日(日) 大阪会場のプログラム

- 12:00 開場
- 13:00 開会(総合司会 西形 達明<関西大学>)
挨拶<関西大学学長>梶見 清貴
- 13:10 特別講演「マチュピチュ遺跡の歴史とその保護・活用」(遠次選択付)
ペルー文化省マチュピチュ遺跡保護管理事務所 ピエダッド・チャンピ、グラディス・ファルバリマチ
- 14:20 「太陽の神殿の保存修復に向けて：共同研究プロジェクトの成果」 プロジェクト代表 西浦 忠輝(国士舘大学)
- 14:50 休憩(20分)
- 15:10 「地震で崩壊？ 遺構の構造耐力を調べる」 伊藤 淳志・西形 達明(関西大学)
- 15:30 「聖地マチュピチュ遺跡の気象環境」 森井 靖之(東京文化財研究所)
- 15:50 休憩(10分)
- 16:00 パネルディスカッション「より良い保存修復と活用：今後に向けて」
コーディネーター 文野 幸弘(朝日新聞社)
パネリスト：ピエダッド・チャンピ、西浦 忠輝、伊藤 淳志、西形 達明、岡田 保良(国士舘大学)
- 16:45 閉会挨拶<関西大学国際文化財・文化研究センター長> 吹田 浩



アクセス

【左図】東京会場
国士舘大学までのアクセス

国士舘大学(国士舘大学)
国士舘大学(国士舘大学)
国士舘大学(国士舘大学)
国士舘大学(国士舘大学)
国士舘大学(国士舘大学)

【右図】大阪会場
関西大学までのアクセス

関西大学(関西大学)
関西大学(関西大学)
関西大学(関西大学)
関西大学(関西大学)
関西大学(関西大学)



関西大学国際文化財・文化研究センター 研究会

2015年3月2日(月)

「マチュピチュ遺跡-日本とペルーにおける共同研究の今後-」

11:30~12:20 CHAMPI MONTERROSO PIEDAD ZORAIDA
(ペルー文化省マチュピチュ遺跡保護管理事務所保存部・部長)

12:20~13:00 休憩

13:00~14:00 HUALLPARIMACHI QUISPE GLADYS
(ペルー文化省マチュピチュ遺跡保護管理事務所保存部・主任)

14:00~14:15 休憩

14:15~15:00 質疑応答

場所：関西大学 国際文化財・文化研究センター
総合研究室棟2階 実験・講習室

連絡先：関西大学 国際文化財・文化研究センター
〒564-8680 大阪府吹田市山手町3-3-35 総合研究室棟2階
Tel:06-6368-1111 E-mail:chc-jim@ml.kansai.jp



文部科学省私立大学戦略的研究基礎形成支援事業
関西大学国際文化財・文化研究センター (CHC)

講演会

シリアの文化財とその現状 2015 Syrian Monuments and their Situation 2015

ユーセフ・カンジョウ氏
(Youssef Kanjou)

シリア・アレppo国立博物館前館長
(Former Director of National Aleppo Museum)

日時：平成27年3月18日(水) 13:00~14:00
場所：関西大学国際文化財・文化研究センター
実験・講習室(総合研究室棟2F)

【お問い合わせ先】

関西大学国際文化財・文化研究センター
〒564-8680 大阪府吹田市山手町3-3-35
TEL: 06-6368-0235
(内線番号 3242又は3249)
FAX: 06-6368-0235
Email: chc-jim@ml.kandai.jp
URL: <http://www.kansai-u.ac.jp/chc/>

※参加申込不要 使用言語 英語のみ



東アジア文化遺産保存 2015 in 奈良 国際シンポジウム

2015年8月26日(水) - 29日(土)
奈良春日野国際フォーラム(〒190-8544 奈良市春日野町)

開催主旨

文化遺産は人類の文化活動を具体的に示すもので、人類の歴史を物語る証であり、人類共通の財産として国家、民族を超えてその保護にあたらなければなりません。

日本、中国、韓国を中心とする東アジアは、歴史的・文化的背景、気象環境、材質、伝統技術など共通する点が多岐にわたります。東アジア地域においても、近年の経済発展とグローバル化によって、伝統文化が失われ、また開発等によって危機にさらされている文化遺産も少なくありません。その一方で、科学技術の進歩により、文化遺産の保存修復技術の向上も加速しています。

そこで、日本、中国、韓国を中心に、東アジアにおける文化遺産保護の現状と対策について、研究発表と討議を通して学術的な交流を行うべく、国際シンポジウムを開催致します。

専門家会議 参加 Web 登録
7月31日まで

<http://npojcp.wix.com/2015iscchea>

専門家会議の参加登録は FAX でも受付が可能です。
必要事項 ①氏名(ローマ字)、②ご連絡先の郵便番号/住所/電話番号/メールアドレス、③所属、④専門、⑤8月26日の修理工場見学会に参加する/しないを明記の上、「2015 東アジア文化遺産保存国際シンポジウム in 奈良」実行委員会事務局まで送信下さい。

26 水 修理工場見学会
修理工場見学会 (詳細守を後に掲載中)
*専門家会議参加登録者対象

27 木 専門家会議 (研究者対象)
会場 | 奈良春日野国際フォーラム(〒190-8544 奈良市春日野町)
参加費 | 30,000 円
(26 日の修理工場見学会、資料代など)
*同日の昼食、レセプションは別費
用語 | 日本、中国、韓国の3カ国語 (同時通訳付)
ポスター発表は要請可
*研究発表の公募は締め切られました。
*内容の詳細はウェブサイトをご確認ください。

28 金 公開講演会 (一般市民対象)

29 土 奈良春日野国際フォーラム(〒190-8544 奈良市春日野町)
会場 | 奈良春日野国際フォーラム(〒190-8544 奈良市春日野町)
定員 | 400 名
*別冊申込券(送料別)・入場料別

奈良春日野国際フォーラム(〒190-8544 奈良市春日野町)
東大寺大仏殿
東大寺大講堂
東大寺南大門
近鉄奈良駅
奈良国立博物館

問合せ先
「2015 東アジア文化遺産保存国際シンポジウム in 奈良」
実行委員会事務局
特定非営利活動法人文化財保存支援機構 実行
〒110-0008 東京都台東区池之端 4-14-8
ビューハイブ池之端 102 号
Fax | 03-3821-3265
Mail | 2015iscchea@gmail.com
Website | <http://npojcp.wix.com/2015iscchea>
ウェブサイトのお問い合わせも可



2015年8月26日(水) - 29日(土)
奈良春日野国際フォーラム(〒190-8544 奈良市春日野町)

日本・中国・韓国を中心に
東アジアの文化財保存修復の専門家が集結し、
最新の調査研究成果の発表と討議が
シルクロード東の最繁華である奈良で行われます

専門家会議 参加 Web 登録 受付 (7月31日まで)
開催日: 8月27、28日 (修理工場見学会 26日)

<http://npojcp.wix.com/2015iscchea>
詳しくは2015 東アジア文化遺産保存国際シンポジウム in 奈良 ウェブサイトをダウンロード

主 編 | 「2015 東アジア文化遺産保存国際シンポジウム in 奈良」組織委員会
共 編 | 東アジア文化遺産保存学会、奈良県、関西大学 / 国際文化財・文化研究センター、日本文化財科学会、(社)文化財保存修復学会
後援 (含申請中) | 奈良市、(公財)文化財保護・芸術研究助成財団、文化遺産国際協力コンソーシアム、(社)国宝修理技術振興財団、
(公財)ユネスコ・アジア文化センター、日本ユネスコ国内委員会、NPO法人文化財保存支援機構、韓国文化財保存科学会、韓国国立文化財研究所、
中国文物保護技術協会、朝日新聞社、毎日新聞社、読売新聞社、産経新聞奈良支局、奈良新聞社、NHK 奈良放送局ほか
助 成 | (公財)朝日新聞文化財団、(財)国際交流基金、(公財)文化財保護・芸術研究助成財団、九州文化財国際交流基金ほか

関西大学法学部、文学部、法科大学院、法学研究所、国際文化財・文化研究センター 共催

関西大学主催 国際シンポジウム

イスラームと国際社会

14日(月) **参加無料**
「イスラーム慣習法および国際法から見たIslamic State」
報告者
Ahmed Al-Dawoody (Assistant Professor, Zayed Univ. UAE)
Hamdy Hassan (Professor, Zayed Univ. UAE)
沖祐太郎 (九州大学、専任講師)

15日(火)
「アラブの春は何をもたらしたか・・・とりわけ女性の地位に現れた変化」
報告者
Tarak Abdaallah
(Interim Director of the Institute for Islamic World Study, Zayed Univ. UAE)
Riham Bahi (Assistant Professor, Cairo Univ. Egypt)
辻上奈美江 (東京大学総合文化研究科特任准教授)

16日(水)
「世界遺産および文化遺産の保護」
報告者
吹田浩 (関西大学文学部教授、国際文化財・文化研究センター長)
Hany Aboel-Azm
(General Director of the Foreign Missions Affairs & P. Committees, エジプト考古省)
前田耕作 (和光大学名誉教授)

特別コメンテーター: 香西茂 (京都大学名誉教授)

2015年9/14(月)
15(火)・16(水)
関西大学千里山キャンパス
尚文館1階マルチメディアAV大教室

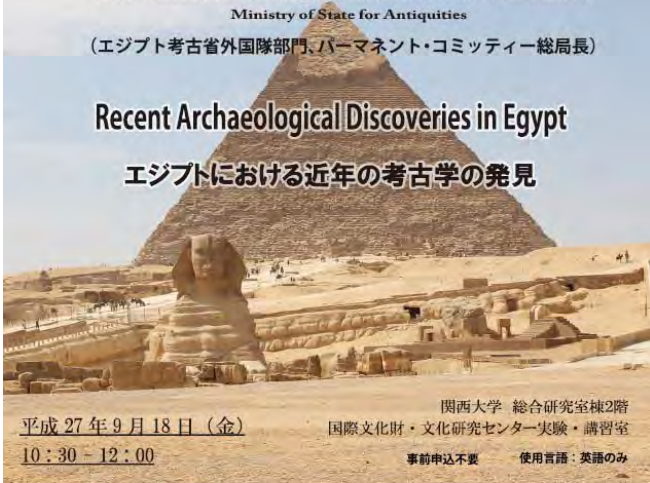
言語: 日本語および英語 (同時通訳つき)

お問い合わせ 関西大学 〒564-8680 大阪府吹田市山手町3丁目3番35号 TEL (06)6368-1121 (代表)

文部科学省私立大学戦略的研究基盤形成支援事業
 関西大学国際文化財・文化研究センター (CHC)
 特別講演
Hany Abo el-Azm
 ハーニー・アボエルアズム氏
 General Director of the Foreign Missions Affairs and P. Committee,
 Ministry of State for Antiquities
 (エジプト考古省外国隊部門・パーマネント・コミッティー総局長)

Recent Archaeological Discoveries in Egypt
エジプトにおける近年の考古学の発見

平成 27 年 9 月 18 日 (金) 10:30 - 12:00
 関西大学 総合研究室棟2階 国際文化財・文化研究センター実験・講習室
 事前申込不要 使用言語: 英語のみ




国際文化財・文化研究センター
 〒564-8680
 大阪府吹田市山手町 3-3-35
 Tel: 06-6368-1456
 (内線番号 3242 又は 3249)
 Fax: 06-6368-1457
 Email: chc-jim@ml.kandai.jp
 URL: http://www.kansai-u.ac.jp/chc/

JPS 日本物理学会 2015 秋季大会 市民科学講演会
科学技術と私たちの暮らし

日本物理学会2015秋季大会が関西大学で開催されるのを機会に、「科学技術と私たちの暮らし」をテーマとする市民科学講演会を開催いたします。

日時 2015年9月20日(日) 13:30~15:45 (開場12:30)
 会場 関西大学 千里山キャンパス 100周年記念会館

13:30~
講演「蓄電技術によるエネルギー 高効率利用社会の幕開け」 石川正司
 (関西大学化学系生命工学科 教授 関西大学 先端科学技術推進機構 機構長)

14:45~
講演「古代エジプト文明の技術」 吹田浩
 (関西大学文学部 教授 関西大学 国際文化財・文化研究センター センター長)

対象 小学生・中学生・高校生を含む一般の方々
 入場 無料
 申込 当日会場にて受付 (定員500名)
 主催 日本物理学会、日本物理学会2015秋季大会実行委員会
 共催 関西大学
 後援 日本物理教育学会近畿支部、大阪府教育委員会、吹田市教育委員会、堺市教育委員会
 問合せ 日本物理学会2015秋季大会実行委員会事務局
 電子メール saito@kansai-u.ac.jp、電話 06-6368-0087





関西大学 国際文化財・文化研究センター
 CHC, Kansai University

中期エジプト語講座 初級

関西大学国際文化財・文化研究センターでは、今年も「中期エジプト語講座 初級編」を開講します。この講座では、古代エジプト語の基本となる中期エジプト語を読み進めることができます。また、12月に開講予定の「中級編」(文章の読解)に向けての基礎固めになっております。講座終了時には、受講者の皆様に修了証を進呈します。社会人や学生の方で関心をお持ちの方は、奮ってご参加ください!

※講師スケジュールの都合により、誠に勝手ながら10月17日(土)の回を11月7日(土)に変更させていただきます。大変ご迷惑をおかけいたしますが、何卒よろしくお願いたします。

<開講日時>
 平成27年 10月10日(土) 24日(土) 31日(土) **11月7日(土)**
 (各講座とも10:40~17:30の間で6コマ実施)


<開講場所>
 関西大学 総合研究室棟2階
 国際文化財・文化研究センター 講習室

<講師>
 吹田浩 (関西大学国際文化財・文化研究センター長)

<対象>
 ・初めて古代エジプト語を学ぶ方
 ・古代エジプト語に興味のある方

<連絡先>
 関西大学国際文化財・文化研究センター
 メールアドレス: chc-jim@ml.kandai.jp

564-8680
 大阪府吹田市山手町 3-3-35
 関西大学 総合研究室棟2階
 国際文化財・文化研究センター
 Tel: 06-6368-1456 Fax: 06-6368-1457
 URL: www.kansai-u.ac.jp/chc/ Twitter: @CHC_KU
 Facebook: https://www.facebook.com/EgyptKansaiUniversity



関西大学国際文化財・文化研究センター
 CHC, Kansai University

中期エジプト語講座 中級

関西大学国際文化財・文化研究センターでは、「中期エジプト語講座 中級編」を開講します。この講座では、「シメへの物語」や「雄弁な農夫の物語」といった古代エジプトの文学作品を読み進めていきます。実際のテキストを読み解くことで、初級編で身に付けた力を試すとともに、古代エジプトの社会や文化も同時に知ることができます。講座終了時には、受講者の皆様に修了証を進呈します。社会人や学生の方で関心をお持ちの方は、奮ってご参加ください!

<開講日時>
 平成27年 12月12日(土) 19日(土)
 平成28年 1月9日(土) (各講座とも10:40~17:30の間で6コマ実施)

<開講場所>
 関西大学 総合研究室棟2階 国際文化財・文化研究センター 講習室

<講師>
 吹田浩 (関西大学国際文化財・文化研究センター長)


<対象>
 ・「中期エジプト語講座 初級」を受講した方
 ・古代エジプト語の学習経験がある方

ph.nk nn hr m list pw in iw vn hprt m hnw
 「なぜあなたはここへやってきたのか、王都で何事かが起こったのか。」(Sin. B.34-36)

<申込方法>
 参加希望者は、電子メールにて、件名を「中期エジプト語講座中級」とし、
 ①氏名(ふりがな)、②連絡先(電話番号)、③年齢
 を明記のうえ、下記メールアドレスまでお送りください。
 また、学習経験のある方は、別途お知らせください。
 ※11月26日(木)締切(定員に達し次第、締め切らせて頂く場合があります)

<申込先>
 関西大学国際文化財・文化研究センター
 メールアドレス: chc-jim@ml.kandai.jp

564-8680
 大阪府吹田市山手町 3-3-35
 関西大学 総合研究室棟2階
 国際文化財・文化研究センター
 Tel: 06-6368-1456 Fax: 06-6368-1457
 URL: www.kansai-u.ac.jp/chc/ Twitter: @CHC_KU
 Facebook: https://www.facebook.com/EgyptKansaiUniversity





文部科学省私立大学戦略的研究基盤形成支援事業
関西大学国際文化財・文化研究センター (CHC)

第2回 エジプト学・文化財研究セミナー

2nd Seminar on Egyptology and Monuments

関西大学国際文化財・文化研究センター(CHC)は、カイロ大学考古学部の研究者8名による、エジプト学とエジプト文化財保存の研究についての研究会を開催します。
エジプト学や文化財に興味のある多数の方のご来場を歓迎いたします。

日時：2016年1月23日(土)・1月24日(日) 場所：関西大学国際文化財・文化研究センター
実験・講習室(総合研究室棟2階)

1/23 (Sat) 保存修復 (Conservation and Restoration)	1/24 (Sun) エジプト学 (Egyptology)
①10:40-12:10 サルワ・ガードエルカリム Salwa Gadelkarim 「考古資料としてのガラスの劣化と保存に関する一研究」 A study of Deterioration and Conservation of Archaeological Glass	①10:40-12:10 ムスタファ・カリファ Mostafa Khalifa 「先史およびエジプト初期王朝時代の狩猟場面」 Hunting Scenes in prehistoric and Archaic Egypt
②13:00-14:30 ワフィーカ・ノシヒー・ワフバ Wafika Noshiyeh Wafba 「パピルス紙と客本資料の保存処理」 The Conservation Treatments of Papyrus and Manuscripts	②13:00-14:30 ザケーア・ザキ・ガメルディーン Zakia Zaki Gamelddeen 「王家の示威行為とその歴史的背景」 The Royal Threat and its Historical Background
③14:40-16:10 エルサイド・マフムド・エルバンナ Essayed Mahmoud Elbanna 「国際会議と国際会議における歴史地区の保存」 The Conservation of Historic Areas in the International Charters and Conferences	③14:40-16:10 スライマン・エルワヘリー Soliman Elhewaly 「古代メソポタミアの内屋印章に見る神へのとりなしの祈り」 The Intercession Scenes in Mesopotamian Cylinder Seals
④16:20-17:50 ゴマー・アブデルマクソド Gomaa Abdelmaksoud 「考古資料としてのミイラの保存処理を目的とした実験と応用研究」 Experimental and Applied Studies for the Conservation Treatment of Archaeological Mummies	④16:20-17:50 モハン・ネゲメルディン Mohsen Negmeldin 「エジプトの軍事会議—ヒクソス時代、トメス3世時代、ラムセス2世時代—」 Councils of War: Hyksos era, Thutmose III, and Ramses II

〒564-8680 大阪府吹田市山手町3丁目3番25号
Address: 3-3-25 Yamate-cho, Suita-shi, Osaka 564-8680 Japan
Tel: 06-6366-1111(内線番号3920)
Fax: 06-6366-1452
URL: www.kansai-u.ac.jp/chc/index.html
E-Mail: chc@ipc.kansai-u.ac.jp
関西大学国際文化財・文化研究センター
Center for the Global Study of Cultural Heritage and Culture, Kansai University

参加費：無料
使用言語：英語



平成27年度 文化財保存修復セミナー 応募要項

—文部科学省私立大学戦略的研究基盤形成支援事業—



関西大学 国際文化財・文化研究センター

「文化財保存修復セミナー」開催趣旨

昨今の急速なグローバル化と異なった文化を運ぶ際の中で、文化や文化財を保存し、活用することは、益々重要となってきています。また、これらを行う時代の中でも、伝統的なものづくりや、歴史遺産への興味が高まっています。文化を愛し、そこから種々出された文化財を大切にすることは、人類が平和に共存する基盤ともなるものです。多くの学生や社会人の方々が、文化とつながる文化財を学びたいと希望しておられます。

これを受けて、関西大学国際文化財・文化研究センターでは、文部科学省私立大学戦略的研究基盤形成支援事業の中で、「文化財保存修復セミナー」を開催しております。講師陣には既に現場で活躍している研究者、技術者など一流の専門家を迎え、今まで文化財に全く触れたことのない方にも分かりやすく授業を行います。また、新進作家の基本となる簡単な実習も行います。

将来的な文化財専門家への一歩として、共に学んでいきましょう。

- 定員：30名
- 参加資格：大学生で文化財関係を志す方とする者
一般社会人で文化財保護に関心を持ち志す方とする者
※希望者多数の場合は主催者が選抜。
- 受講時間数：約41時間(7日)
講義33時間 / 実習・見学等約8時間
- 実施期間：平成28年2月20日(土)、21日(日)、22日(月)、23日(火)、24日(水)、25日(木)、26日(金)
全7日間 ※なお2月27日(土)、28日(日)にランボウジム開催予定です。要ってご参加下さい。
- 時間：9:30~11:00、11:15~12:45、13:45~15:15、15:30~17:00
[1講義:1.5時間/1日(4講義が原則。ただし3時間の講義もあります。)]
- 場所：関西大学 国際文化財・文化研究センター 実験・講習室
大阪府吹田市山手町3丁目3番25号 関西大学山手キャンパス 総合研究棟2階
[吹上平屋部「階上廊」部(徒歩約10分)
詳細は以下のURLをご確認ください(115の連絡)
<http://www.kansai-u.ac.jp/global/guide/announcment.html>

■参加費：一般 20,000円 / 学生・院生 10,000円 / 関西大学学生・院生 5,000円
※当日、学生の方は学生証をご持参ください。

- 受講者の特典：全日程履修者には修了証書授与します。
※必ず修了しない場合は次年度以降の受講にはお申し込みできません。ご留意下さい。
- 応募期間：平成28年1月24日(日)まで
- 応募方法：申し込み用紙に必要事項①氏名 ②年齢 ③連絡先住所 ④連絡先電話番号、FAX番号、メールアドレス等 ⑤所属機関、部署(学生の場合は、専攻コース名など) ⑥専門分野等を入力の上、株式会社ミューズ(裏面参照)まで、FAX、郵送あるいはe-mail 添付にてお送り下さい。
申し込み用紙は下記URLよりダウンロードもできます。
<http://www.kansai-u.ac.jp/chc/insage/seminar/h27seminar-form.doc>



文部科学省私立大学戦略的研究基盤形成支援事業
関西大学国際文化財・文化研究センター (CHC)

国際シンポジウム

世界の文化財保護

~地域に根ざした活動と課題~

Preservation of Cultural Heritage

~Local Challenges and Activities~

2016年2月27日(土)・28日(日)

関西大学 千里山キャンパス

尚文館1階 マルチメディアAV大教室

初日の「エジプト文化財修復の成果と課題」では、世界中のマスメディアでとりあげられたエジプトの階段ピラミッドの修復方法の是非についてとりあげます。現地サッカーの遺跡監督官や保存修復の責任者をお迎えし、現地のありのままの状況をお話していただきます。そして、エジプトの遺跡の保存修復の現状や課題について詳しく議論します。

2日目の「各国の文化財保護の現状と国際的なネットワーク」では、様々な国の文化財の問題に注目します。絶望的な危機にあるシリアの文化財や、ポーランド、バハレーン、中国といった幅広い地域の文化財の現状に加えて、文化財保護をめぐる国際協力について話し合います。



"Strategic Project to Support the Formation of Research Bases at Private Universities" of the Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology (MEXT)

(会場案内)



阪急千里線「北千里」行き
「関大前」駅 下車
北校門口から徒歩約10分

(お問い合わせ)

関西大学国際文化財・文化研究センター
〒564-8680
大阪府吹田市山手町3-3-35
Tel: 06-6368-1111
(内線番号3242又は3249)
Fax: 06-6368-0235
Email: chc-jim@ml.kandai.jp
URL: www.kansai-u.ac.jp/chc/
Twitter: @CHC_KU
Facebook: https://www.facebook.com/Egypt.Kansai.University

参加費無料
事前申込不要
同時通訳あり



Workshop

Recent Activities in Cultural Heritage
29th February (Monday), 2016

CHC, Kansai University
Researchers office (second floor)

10:00	Opening	
10:10~11:10	① The History of the Complex of Zoser	Sabry Farag
11:10~12:10	② The Serapeum Tomb: History and Architecture	Hamdy Amin
12:10~13:00	Lunch break	
13:00~13:45	③ Scientific Study of the Step Pyramid Project	Ashraf Youssef
13:45~14:30	④ Conservation Activities in Egypt	Mostafa Abdelfatah
14:30~15:00	Break	
15:00~15:50	⑤ Present Crisis of Cultural Properties in Syria	Youssef Kanjou
15:50~16:40	⑥ Conservation Activity in Dunhuang	Su Boming
16:40~17:30	⑦ Burial Mounds in Bahrain	Salman Almahari



文部科学省私立大学戦略的研究基盤形成支援事業
関西大学国際文化財・文化研究センター (CHC)

イスラーム教と他宗教の共存および
イスラーム教宗派間の共存



エジプト アズハル大学
マジェッド・ナフス氏

イスラーム研究の著名な研究者であるマジェッド氏との質疑応答もありますので、イスラームについての素朴な疑問をお持ちの方をはじめ、多くの方々のご参加をお待ちしております。

日時: 2016年3月24日(木) 13:00-14:30

場所: 関西大学国際文化財・文化研究センター 多目的室
(総合研究室棟2階)

関西大学国際文化財・文化研究センター
〒564-8680
大阪府吹田市山手町3-3-35
Tel: 06-6368-1111 (内線番号3242又は3249)
Fax: 06-6368-0235
Email: chc-jim@ml.kandai.jp
URL: www.kansai-u.ac.jp/chc/

